

＜オイスカとは＞

財団法人オイスカ（以下オイスカ）は1969年に「すべての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界を目指す」というオイスカ・インターナショナル（1961年創立）の基本理念を具体的な活動によって推進する機関として生まれ、主にアジア・太平洋地域で農業開発や環境保全活動を展開しています。特に人材育成に力を入れ、オイスカの研修を修了した各国の青年は、それぞれの国で農村開発に取り組んでいます。また26の国と地域において、子供たち自身が、学校の敷地や隣接地で苗木を植え育てていく実践活動を通じて「自然を愛する心」「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていく「子供の森」計画を展開しています。国内では農林業体験やセミナー開催などを通じての啓発活動や、植林および育林による環境保全活動を展開しています。



＜学校林活動への取り組み＞

現在、約3000の小・中・高校が保有している学校林は、昨今、森林がもたらす教育的効果を十分に得られる最適なフィールドとして見直されつつあります。しかし、いざ学校林を活用しようとしても、森林に関する知識や荒れ果てた学校林を整備するための資金がない、誰に何を相談すればよいか分からない、などの問題を抱えている学校が多いのが現状です。

オイスカは2000年より子供たちが里山で自然に親しめる環境づくり、及び学校教育における森林活用を推進するために学校林保全活動を始め、企業や国土緑化推進機構などの助成団体の支援を受け、林野庁や地元自治体、林業関係者、地元の方々と学校を結ぶ調整役として活動を展開してきました。9年目を迎えた現在、山梨、東京、神奈川、岐阜、愛知、兵庫、富山、青森にある合計18校の小・中学校において、荒れてしまった学校林の整備活動や、学校の児童たちによる学校林での下草刈り・苗木の植え付け等の自然体験学習等の実施協力、それらの活動が持続していけるよう各学校に「学校林検討委員会」のようなものを立ち上げていただき教育現場での体験学習のサポートを行ってきました。

近年、子供たちを取り巻く環境の変化により体験を通じて学ぶ機会が減り、自ら課題を見つけて考えてゆ

く力や、心身のたくましさが失われた子供たちが増えていると言われています。森林（自然）の中には子供たちが、両親や年長者から、その関り方や活かし方を学べる様々な条件が散在しています。オイスカでは自然における原体験は、健全な社会を形成する大人への成長を助長するものであるという考えに基づいて展開しております。これからも、更なる活動の広がり、各学校林に関係する方々が協働して活動を継続することによって、地域全体の「ふるさと」として守り、育ていけるよう進めていきます。



●お問い合わせ・連絡先
〒168-0063 東京都杉並区和泉3-6-12
財団法人オイスカ 組織部
Tel.03-3322-5161 / Fax.03-3324-7111
E-mail : oisca@oisca.org
<http://www.oisca.org/>



当協会は、森林資源の有効利用、森林環境の保全、森林施業との調和等の観点に立って、森林レクリエーション利用に関する調査研究、普及啓もう等を行うことにより、森林レクリエーション利用の推進、林業経営の安定、地域の発展に寄与することを目的としています。事業活動は、森林レクリエーション利用に関する調査研究、普及啓もう、森林環境教育の推進、資格認定等で、子ども樹木博士の認定や森林インストラクター試験の実施、森林レクリエーション地域美化活動コンクールなどを実施しています。

普及啓もう活動としては、森林レクリエーション利用に関する情報誌として毎月「森林レクリエーション」を発行しています。



子ども樹木博士の認定は、①樹木ツアー／樹木の名まえをおぼえながら森林内を散策、②模擬テスト／樹木の標本などでその名まえを再確認、③実力テスト／20種類の樹木の名まえを見分けるテストを行い、その結果正解数によって10級～3段までの「子ども樹木博士」の認定証を授与します。



「森林レクリエーション地域美化活動コンクール」は、毎年全国の地域のボランティア団体や、小学校～大学などで森林や公園などの美化活動を行っている団体を各支部等から推薦し東京の本部において審査、表彰するものです。枠入りの写真は、平成21年6月1日第24回通常総会の審議に先立ち、第21回「森林レクリエーション地域美化活動コンクール」で全国から7団体が表彰されたのを記念して内藤林野庁長官、三浦雄一郎会長を囲んで撮影されたものです。その外、当会の重要な仕事として「森林インストラクター試験」や「森林インストラクター養成講習会」の実施などがありますので興味のある方はご連絡下さい。



●お問い合わせ・連絡先

〒780-0850 高知市丸の内1丁目7-36
財団法人日本森林林業振興会高知支部内
社団法人全国森林レクリエーション協会四国支部
TEL 088-824-1114 / FAX 088-822-5589
E-mail : jffkouchi@center-green.or.jp

セブン-イレブンみどりの基金の活動



セブン-イレブンみどりの基金は、会社創立20周年記念事業として、セブン-イレブン加盟店と本部が一体となって“環境”をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的とし、1993年（平成5年）11月に設立されました。セブン-イレブン店頭でお客様からお預かりした募金とセブン-イレブン加盟店の協力、そしてセブン-イレブン本部からの寄付金をもとに、環境市民団体への支援活動や自然環境保護・保全活動、地域環境美化活動、広報活動などを行っています。

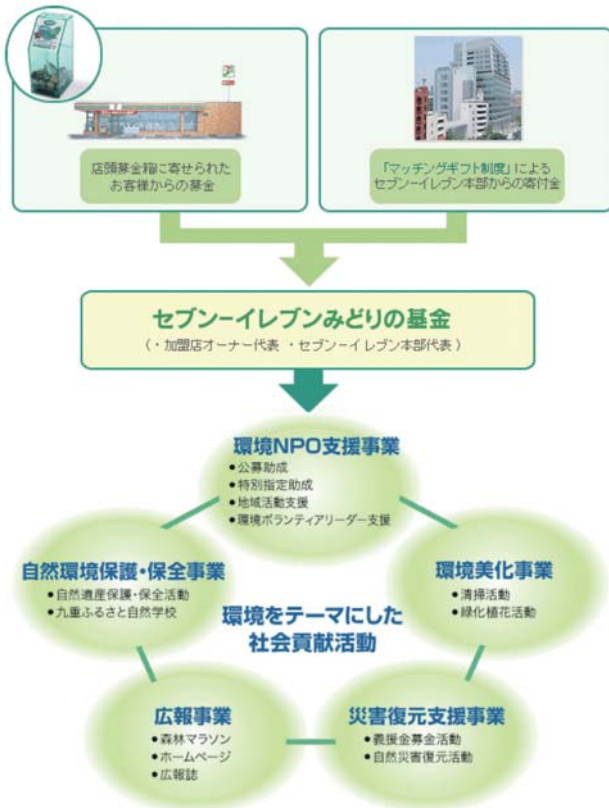
店頭でお客様からお預かりした募金をお届けする公募助成制度は、「自然環境保護・保全」「体験型環境学習」など、市民の地域に根ざした環境活動を、店頭募金を通じて市民が応援するという地域に密着した助成制度として認知されてまいりました。

また、日本の美しく、貴重な自然を日本や世界の財産として次の世代に残すために、さまざまな団体と環境パートナーシップ協定を結び、「富士山地域環境保全活動」「霧多布湿原トラスト活動」などの自然環境の保護・保全事業を推進しております。

さらに日常の生活のなかから環境について考え、行動し、解決していく心を育み、より多くの方に自然環境の大切さや問題に関心を持っていただくことを目的に、地域環境美化事業や、広報事業を行っています。

身の回りの環境ボランティア活動から、日本の自然遺産をまもる活動まで、当基金は、これからもお客様、環境市民団体、セブン-イレブン加盟店・本部と力を合わせ、より一層の活動内容の充実を図り、地域に根ざした社会貢献活動を展開していきたいと考えております。皆様の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

●セブン-イレブンみどりの基金フロー図



三宅島緑化プロジェクトの植樹活動



環境先進国といわれるドイツで研修
(ドイツの森のようちえんにて)

環境理念

私たちはホテル事業において”お客様の五感に働きかけることによって深い安らぎと満足を味わっていただくサービス”を提供しております。私たちはお客様が安心・安全で快適な滞在であるためにも、地球温暖化を始めとする環境問題の解決に取り組み、地球環境の保全と改善に努力し、社会の一員としての責任を果たします。

活動のご紹介

お客様のご理解とご賛同を賜わりながら「ecoガーデンカード」の運用を実施いたしております。

(1) 「ecoガーデンカード」の趣旨

社会的に環境問題への関心が高まりつつあるなか、弊社環境理念でもある「地球環境の保全と改善」の具体的活動【廃棄物の削減と環境創造(緑の保全)】の取り組みとし実施しております。

(2) 「ecoガーデンカード」のしくみ

この取り組みは趣旨にご賛同いただいたお客様が、客室内のアメニティボックスまたはトレイにセットしてあるグッズをお使いにならなかった場合、添えてある「ecoガーデンカード」をフロントの「回収箱」にご投入いただきますと、弊社より環境保護団体(財団法人オイスカ(注1))に寄付させていただきたくみです。



*1.オイスカは1961年に日本のNGOの草分けとして設立された団体です。長年の活動が評価され1993年に「地球サミット賞」を受賞し、1995年には国連経済社会理事会の最高位である「総合諮問資格」を取得しているNGOです。

職場体験学習への協力

全国の三井ガーデンホテルズでは中学生、高校生の職場体験学習に協力しています。客室清掃、朝食会場での案内、食器洗いなどを通して、働くことの大変さや喜び、楽しさを実感して頂いています。



地産地消活動

“地産地消”とは、地域生産地域消費の略語で、地域で生産された農産物や水産物をその地域で消費する事を言います。一般的には、同じ都道府県内で生産された産物に対して「地産地消」扱いとしています。

「地産地消」が浸透してくると流通過程が短くなり、輸送にかかる不必要なエネルギー消費や、CO2の排出削減が可能であると考えられております。また、消費者と生産者の距離が近いゆえに「鮮度が高い」という事や、地域経済の活性化や地域の愛着にもつながり、地域の伝統的食文化の維持と継承ができるとも言われております。ぜひ一度ご賞味ください!!

大人気の郷土料理コーナー

- 熊本名物の「辛子蓮根」「だご汁」「いきなり団子」
 - 阿蘇名物の「高菜飯」
 - 県北の南関町特産! 南関揚げを使った「菜焼」
- 特に人気があるのは「だご汁」です。だごとは小麦粉の平たい団子の事を言い、簡単迅速で腹持ちがよく、エネルギー補給には最高の素朴な料理です。野菜たっぷりの、文字通り温かいおもてなしです。ぜひ一度ご賞味ください!!



*メニューの変更、及び実施していないホテルもございます。ご利用時にご確認ください。

日本コカ・コーラの環境への取り組み



コカ・コーラは、全世界で展開している事業指針「Live Positively-世界をプラスにまわそう-」のもと、飲料の製造・販売、社会や環境への取り組む活動を通じて、プラスの循環を生み出すことを目指しています。とくに、地球環境への配慮を実際の行動に移すことの重要性を明確に示しています。

環境への取り組みは、コカ・コーラが社会とともに持続的に成長する上で欠かすことのできないことと捉えています。水、エネルギー、廃棄物、容器を主な領域として、製造から物流、販売、オフィスに至るまで、全事業プロセスにおいて環境負荷を低減し、限りある資源の有効活用に努めています。

あわせて、地域社会の一員として、全国各地で次世代の育成と環境問題への貢献を柱とする社会貢献プログラムを展開しています。

環境省・林野庁の後援のもと2006年にスタートした環境教育プログラム「森に学ぼう」プロジェクトは、次世代を担う全国の子どもたちに地球環境について考えるきっかけを提供しています。このプロジェクトはコカ・コーラが世界規模で取り組む水資源保護活動の一環としても位置づけており、大切な資源である水とその水を育む森林、そして自然保護の大切さを子どもたちに理解してもらうことを目指しています。

各地での活動イベントの実施だけではなく、森や自然について楽しみながらわかりやすく学べるような専用ウェブサイトも開設しており、ウェブサイト上で森や自然に関する簡単なテストに合格すると「森の博士」として認定証が発行される仕組みも提供しています。2008年12月末には、3万人以上の「森の博士」が全国で誕生しています。

また、企業としての環境負荷低減への取り組みについては、「企業がみずから取り組むべきこと」と、ステークホルダーと「いっしょにできる取り組み」の両面で実施しています。2008年には、当社従来機に比べ約40%の省エネを実現した自動販売機「ecoる/E40」を開発、導入。2009年には、国内最軽量12gのPETボトル「ecoるボトル/しぼる」を開発し、ミネラルウォーターブランド「い・ろ・は・す」に採用しました。このPETボトルは小さくしぼってリサイクルできるため、「しぼって(つぶして)、リサイクルする」という、簡単な環境アクションを提案しています。



地球温暖化防止等への 貢献を目指して

財団法人日本森林林業振興会高知支部

当会は、公益的事業の拡大を図り、森林づくりに係る事業及び活動等に対して協力・支援を行い、地球温暖化防止をはじめとして、水源の保全、環境教育などの面で美しい森づくりに資することを目的として、森林づくり基金を設立しています。

助成する事業等は、①森林整備、②森林ボランティア活動、③森林環境教育、④間伐材等木材利用の促進、⑤森林災害の復旧、⑥その他上記に準ずるもので公益事業と認められるもの等で、これらに対する事業及び活動等について実施・協力・支援を行うことにしています。

このため、当支部は平成21年6月25日、高知県大豊町にある国有林の伐跡地を四国森林管理局と法人の森林の分収造林契約を締結したところであり、今後、当箇所の森林づくりを通じて森林環境教育等の事業を実施したいと考えています。



古事の森の説明を聞くボランティア

また、①国有林の利活用跡地、災害跡地、民有林(公有林及び法人の所有林)未立木地等を対象に新たに分収造林契約を行い事業を実施する団体等に対して造林費用の一部を助成します。②一般市民の森林ボランティア活動等公益性が高いと認められるものについて費用の一部を支援します。



小学生による
「古事の森」植樹状況



四国森林管理局と契約締結した法人の森林

その外、①公益事業として平成19年10月20日愛媛県久万高原町(サル谷山国有林)で実施された「古事の森」イベント(森づくり活動、森林環境教育)、(主催四国森林管理局、伊予之三名島古事の森育成協議会、四国の森づくり協議会)へ助成、②森林環境教育資材購入費の助成、③剣山自然休養林等保護管理協議会へ剣山公衆トイレ修繕経費の一部助成、④しまんと黒尊むらへ「黒尊親水公園歩道整備事業」へ歩道整備費用の一部助成等を行っています。



ボランティアによる
トイレ修繕材料の運搬



完成した剣山公衆トイレ



ボランティアによる
舗装資材の敷設状況



完成した黒尊親水公園の歩道

●お問い合わせ・連絡先

〒780-0850 高知市丸の内1丁目7-36

財団法人日本森林林業振興会高知支部

TEL 088-824-1114 / FAX 088-822-5589

E-mail : jffkouchi@center-green.or.jp



本サミットの開催に協賛をいただいた企業等の皆様の広告です。

	
	
<p>財団法人 日本森林林業振興会 高知支部 〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-36 (興林会館3F) TEL.088 (824) 1114 ☆森林調査・森林評価 ☆森林資材物品の販売 ☆三井住友海上代理店保険業務 お気軽にご利用下さい</p>	 <p>高知県安芸郡馬路村3888-4 TEL ☎0120-559-659</p>
<p>しあわせのチカラになりたい。四国電力は、高知県の「環境先進企業との協働の森づくり事業」に参画しております。</p>  <p>しあわせのチカラになりたい。 四国電力株式会社 高知支店 ●ホームページ http://www.yonden.co.jp/ ●携帯電話サイト http://www.yonden.co.jp/m/</p>	<p>子ども達とともに豊かな自然にふれ、自然や環境の大切さを、ともに感じ学び伝えていきたい。</p>   <p>フジは子どもエコクラブ活動をおとして、子供たちの環境学習を応援しています。</p>
 <p>香川県高松市八坂町1-7 TEL.087-851-3453</p>	 <p>(社)高知県森林協会は、小・中学生と一緒に森づくりに取り組んでいます。 社団法人 高知県山林協会</p>

本報告書に関するお問い合わせ先

四国森林管理局計画部指導普及課

〒780-8528 高知市丸の内1-3-30 TEL.088-821-2121 FAX.088-821-2191
E-mail:shikoku_sidou@rinya.maff.go.jp <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>



協賛

セブン-イレブンみどりの基金

オムロン(株)

三井ガーデンホテルズ

日本コカ・コーラ(株)

(財)日本森林林業振興会高知支部

馬路村農業協同組合

四国電力(株)高知支店

(株)フジ

(株)多田印刷所

(社)高知県山林協会

(社)高知林業土木協会



主催:「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin四国実行委員会

構成:林野庁、四国森林管理局、(財)オイスカ、(社)全国森林レクリエーション協会四国支部、(公社)高知県森と緑の会、高知県森林インストラクター会